

伊藤忠商事：奇点汽車へ出資参画、中国E V市場で商機狙う

伊藤忠商事(株) (東京都港区北青山2-5-1、TEL:03-3497-2121) は、次世代モビリティビジネスへの取り組みの一環として、中国の電気自動車 (E V) メーカーである「智車優行科技 (上海) 有限公司」 (奇点汽車) から第三者割当増資を引き受け出資参画した。

現在、中国のE V市場は、政府の後押しを受け急速に拡大しつつある。このため、ビジネスバリューチェーンに大きな変革が起きるとともに、新たなビジネスチャンスが期待されている。



奇点汽車は、中国で最も需要の大きいSUVセグメントのE V車両 (写真) を開発し、2018年末の市場投入を目指している。A I (人工知能) やI o T技術により高度にコネクテッド化された車両を開発しており、単なるE V車両販売ビジネスだけでなく、クルマを顧客接点のデバイスと位置づけて、車両を通じたユーザーデータの取得・分析やユーザーへの情報発信を活かした様々なデータ活用サービスビジネスを志向している。

伊藤忠は、これまで培ってきた自動車販売ビジネスのノウハウを活かして奇点汽車をサポートするとともに、同社のデータ活用サービスやE Vアフターサービスのノウハウを取り入れて、既存のディストリビューター・ディーラー事業をプラットフォームとした次世代モビリティビジネスの構築を進めていく。

さらに、伊藤忠は中国におけるE V商用車のレンタル・メンテナンスサービスを行っている「地上鉄租車（深セン）有限公司」（地上鉄）にも出資参画した。地上鉄によるE V商用車の管理台数は約1万5000台と世界最大規模を誇る。また、E V商用車のレンタルだけでなく、車両の運行管理および充電インフラの整備も手がけており、E V商用車を使った物流オペレーションに強みを持っている。

伊藤忠は、商用車ビジネスのノウハウ、中国での物流事業とのシナジーや日系顧客とのネットワークを活かし、地上鉄と協働してE V商用車のレンタルを推進するとともに、E Vバッテリーの2次利用やリサイクル、分散型エネルギーへのE V活用といった次世代電力バリューチェーンとのシナジーも検討していく。

提供 「電子デバイス産業新聞」